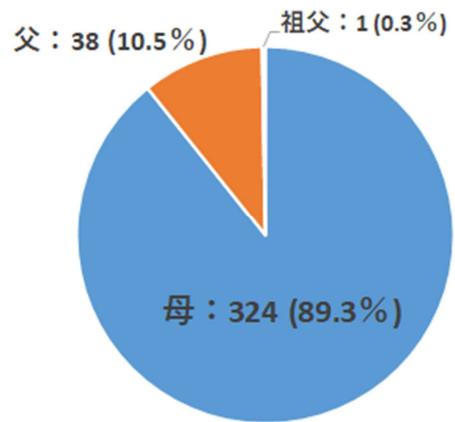


「太子町立小学校に関するアンケート」の結果について

【アンケートの概要】

- 対象：町内の幼稚園・保育園所・こども園に子どもを通わせている保護者等
- 目的：今後の太子町立小学校のあり方を検討する際の参考とする
- 期間：令和7年7月16日（水）～8月24日（日）
- 方法：WEB及び紙による回答
- 回答数：369件（WEB273件、紙96件）



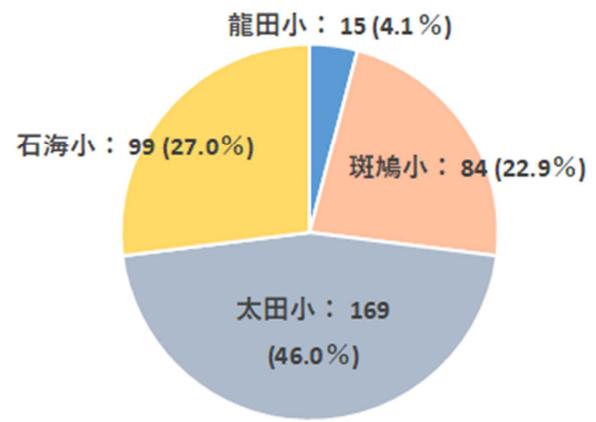
【問1】お子様との関係を教えてください。

回答者の約9割が母親であり、父親の回答は約1割であった。祖父からの回答も1件あった。

【問2】あなたのお子様の校区を教えてください。

回答者の校区別の比率は、概ね現在の児童数の比率に近い結果であった。

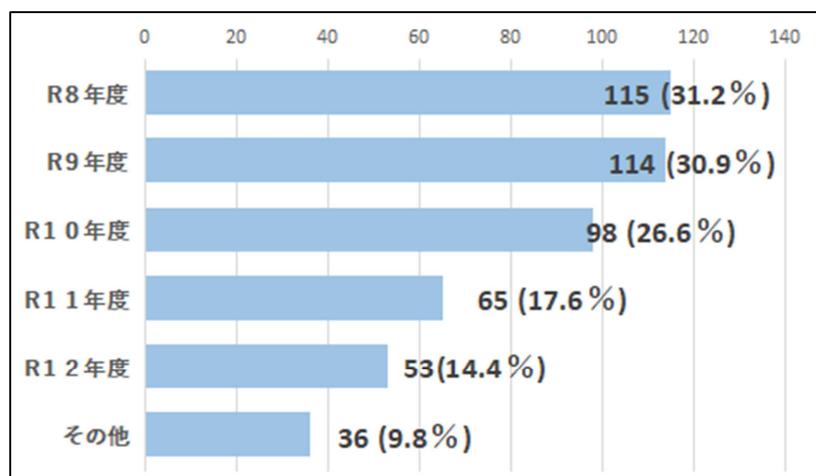
	龍田小	斑鳩小	太田小	石海小
回答者数	15	82	168	96
回答者の比率	4.1%	22.9%	46.0%	27.0%
児童数の比率	5.5%	22.2%	47.7%	24.6%



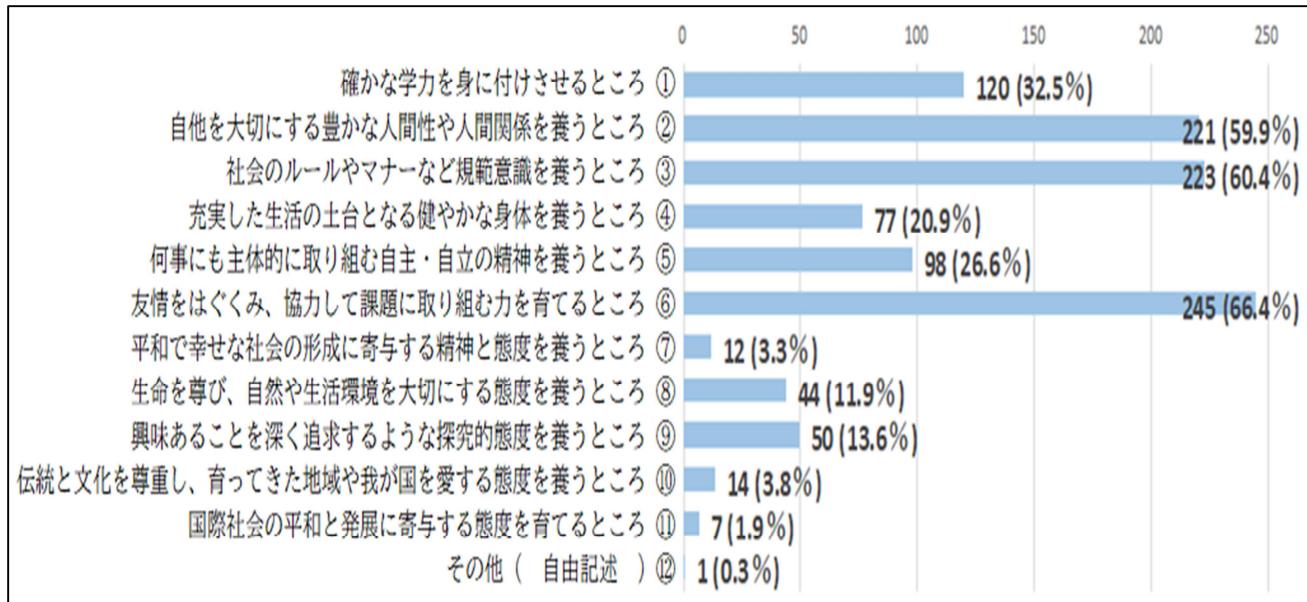
【問3】あなたのお子様は何年度に小学校に入学予定ですか？（きょうだいがおられる場合は、複数選択してください）

最も回答数が多かったのはR8年度入学予定の保護者であった。

また、入学年度が近い保護者ほど多く回答している傾向が見られた。



【問4】小学校はどんな力を養うべきところだと思いますか。特に「そうだ」と思うものを選択してください。(3つまで)

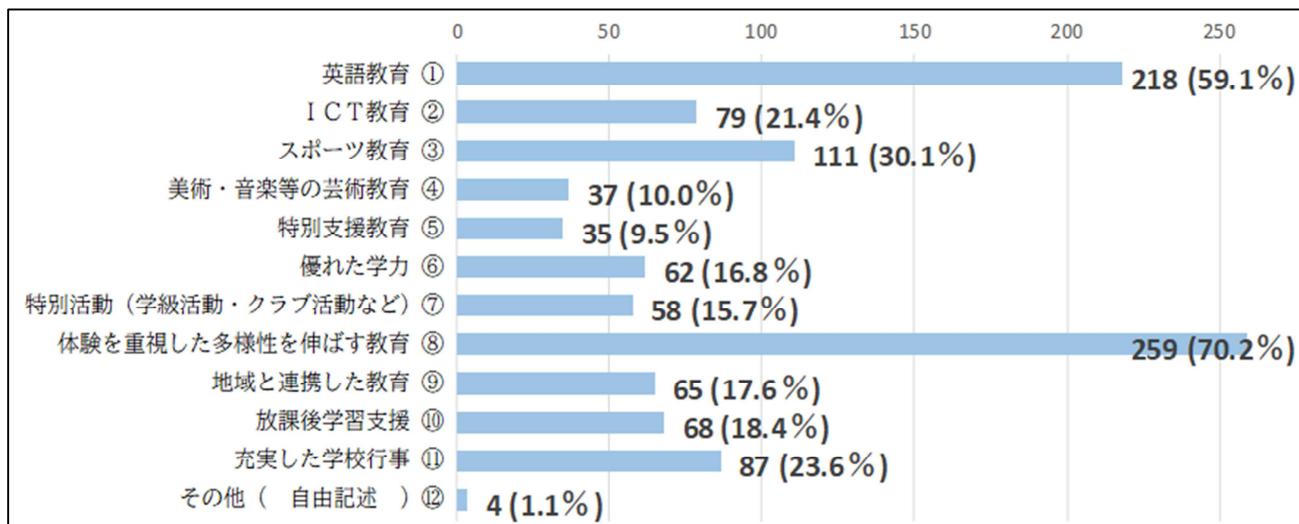


アンケート結果で、圧倒的に多くの票を集めているのは、以下の3項目であった。

- ・友情をはぐくみ、協力して課題に取り組む力を育てるところ (245人)
- ・社会のルールやマナーなど規範意識を養うところ (223人)
- ・自他を大切にする豊かな人間性や人間関係を養うところ (221人)

また、「確かな学力を身に付けさせるところ (120人)」多くの票を集めているが、上位の3項目と比較すると、半分程度の回答数に留まっていた。

【問5】学習面において、どんな特色のある（力を入れている）学校なら通わせたいと思いますか。特に「そうだ」と思うものを選択してください。(3つまで)



アンケート結果で、圧倒的に多くの票を集めたのは、以下の2項目であった。

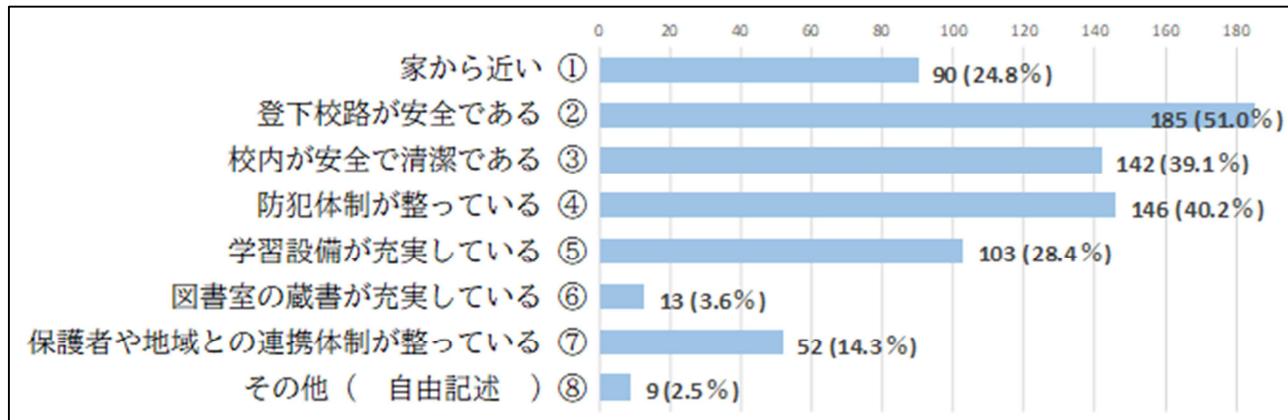
- ・体験を重視した多様性を伸ばす教育 (259人)
- ・英語教育 (218人)

「優れた学力（62人）」多くの票を獲得しているものの、上位の2項目に比べるとかなり票数は少ない結果となった。学力は重要であるが、それ以上に体験や英語教育を重視する傾向が見られた。

一方、スポーツ教育（111人）も100以上の票を集めており、子どもの心身の健康や体力向上等を重視する保護者が一定数いることも分かった。

地域連携（65人）や放課後学習支援（68人）など、学校が地域や家庭と連携して子どもを支える体制を求める声もあった。

【問6】設備や教育環境の面で、どんな学校なら通わせたいと思いますか。特に「そうだ」と思うものを選択してください。（2つまで）



- ・登下校路が安全である（185人）
- ・防犯体制が整っている（146人）
- ・校内が安全で清潔である（142人）

この結果より、保護者は小学校を選ぶうえで、「安全」を優先して考えており、「子どもを安心して預けられる場所」という点が重視されている。「家から近い」についても90人の保護者が選択しているが、これも安全な登下校に関わる要素であり、多くの保護者にとって重要な選択基準となっている。

「学習設備が充実している」についても100人以上が選択しており、安全性が確保された上で、学習環境の充実も重視されていることが分かった。

「保護者や地域との連携体制が整っている」（52人）を重要視している保護者も一定数いた。

【問7】「龍田小学校について知っていることをお書きください。（魅力や良いところなど）【自由記述】」について

・回答数：157 【うち「知らない」「分からぬ」「特になし」等：41】

アンケートの結果、龍田小学校について以下の3点を魅力や良いところとして感じている声が多かった。

(1) 少人数ならではの深い人間関係

「少人数」という言葉が、回答の中で最も多く、龍田小学校の最大の特長として認識されており、以下のような内容をメリットとして感じている意見が多かった。

ア 教員と児童の関係

「先生の目が生徒全員に行き届いている」「一人一人に手厚い指導をされている」といった声が多く、個々の児童への丁寧な指導や支援があると捉えられている。

イ 児童同士の関係

「学年関係なく学生皆で協力し合う」「全員が友達」といった声が多く、学年の垣根を越えた温かい人間関係が育まれていると捉えられている。また、大人になっても関係が続くほど深い絆が生まれているという卒業生の声もあった。

ウ 保護者同士の関係

「親同士も親密」という記述があり、保護者間のコミュニティが密接であるといった様子も感じられている。

(2) 地域に根ざした教育と交流

「地域と密接した行事を行っている」など、地域との結びつきに関する記述が多くあった。

ア 地域の伝統体験

「田植え体験」「サマーフェスティバル（盆踊り）」といった具体的な行事が挙げられ、地域の中で交流しながら、他ではできない貴重な体験ができることが良い点として挙げられた。

イ 地域社会に見守られる安心感

「地域の中で見守られながら育つ」という声もあり、地域全体で子どもたちを育てるアットホームな雰囲気が魅力であると捉えた意見もあった。

(3) 恵まれた周辺環境

学校の立地に言及した声もあった。

ア 公園・運動施設の近さ

「総合運動公園」「陸上競技場」が近くにあることが挙げられており、これらの施設を活用した教育や活動に期待する声があった。

【問8】「太子町のどの校区の児童であっても龍田小学校に通うことを選択できるとしたら、どんな学校なら通わせたいと思いますか。【自由記述】」について

回 答 数：178 【うち「特になし」「分からぬ」等：6】

アンケートの結果、校区外からでも通わせたいと思う条件として、以下の4点に関わる意見が多かった。

(1) 学校の特色と教育内容

他の学校にはない独自の魅力や教育内容を求めていた意見が多かった。特に目立ったのは、以下の3つの分野である。

ア 学力向上と個別指導

確かな学力、個別指導、少人数のメリットを生かしたきめ細やかな指導を求める声が多く、特に、成績だけでなく、個性を尊重し、自主性を育む教育を重視した意見が多かった。

イ 専門分野への特化

英語教育（英会話、IB、ケンブリッジ式など）やスポーツ（陸上、球技、体操など）、芸術（吹奏楽など）、ICT・プログラミング教育に特化した学校を望む意見も多くあった。

ウ 多様性への対応

不登校や特別な支援が必要な児童に対応する学校として、インクルーシブ教育、フリースクールのような役割を期待する声もあった。

(2) 安全・利便性の確保

通学手段に言及した記述が非常に多かった。

ア 通学バスの導入

自宅から遠い、登下校が危険といった理由から、スクールバスの導入を求める声が多くかった。

イ 共働き家庭への支援

学童の充実（早朝・夜間）、保護者の負担軽減（旗振り当番、PTA活動、お弁当の日など）を求める声も少なくなかった。

ウ 交通手段の多様化

スクールバス以外にも、車での送迎を許可することや、駐車場の整備を求める意見もあった。

(3) 学校の環境と雰囲気

ハード・ソフト面の両方で、児童が安心して過ごせる環境を求める意見も多かった。

ア 施設・設備の充実

校舎の老朽化を懸念し、新しくてきれいな校舎や最新の設備を求める声もあった。教室やトイレの清潔感、体育館の空調整備などが挙がった。

イ 安全・安心な人間関係

いじめがないこと、先生の目が全員に行き届く環境、子どもが楽しく通える雰囲気、安心して相談できる関係性、居場所があることなど、心の安全を重視する声が目立った。

ウ 適正な児童数

少人数のメリットを評価する一方で、「生徒が少なすぎる」「最低でも2クラスは欲しい」といった意見もあった。

(4) 地域特性の活用と地域連携

龍田小学校ならではの特色として、地域と密接に関わることを期待する声も複数見られた。

ア 伝統文化の継承

昔ながらの地域交流（田植え、餅つきなど）や、少人数の特性や自然を生かした体験学習を求める意見があった。

イ 地域特性の活用

陸上競技場を利用したスポーツ教育など、龍田地区の特色を生かした教育を望む声もあった。